

☆植栽ボンド：ちょっと硬派な「葉造くん」^{よーぞう}

建築模型やジオラマ模型などの植栽にとっても便利な専用ボンド。

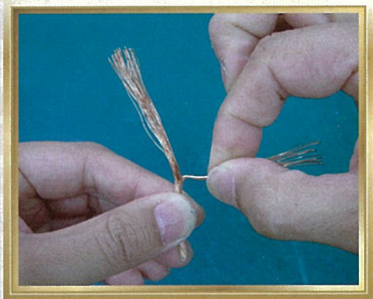
「草造くん」とは違い、濃度の濃さを感じますが、同じく乾燥が速いタイプです。

「ランドスポンジ」に混ぜて樹木の葉を作る専用のボンドで「レイアウトストーン」や「レイアウトパーツ」などのジオラマ用の小物の接着にも適します。(50cc入り)

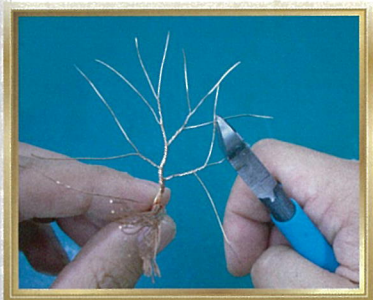
希望小売価格 420 円

(本体価格 400 円)

葉造くん^{よーぞう}で樹木を作る



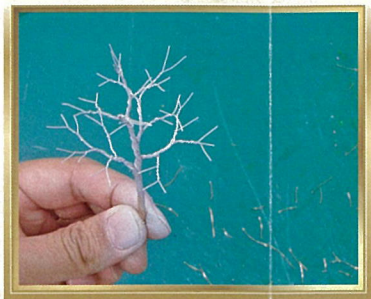
①木の幹を作るには「トゥリーク」(光栄堂)を6本ずつほど、ねじって枝にします。



②コツは2～4回ねじることにより枝が分かれ、いい感じに枝を切ることで。



③こんな感じになれば OK です。



④塗装する場合は前処理として缶スプレーのサーフェイサーを一拭きします。金属プライマー入りののがおすすめです。この後、好みの色に塗装します。



⑤ラランドスポンジの極細目を紙コップに半分くらい入れます。植栽ボンド「葉造くん」を一面にかけます。
そしてほんの少しの水を加えます。
(ペットボトルのキャップ1杯弱)

水が足らないと、まとまりにくく、多すぎると重くて枝に乗りにくくなります。



⑥全体に白っぽくなるまでよくかき混ぜて、まとまってきたら、先ほどの「トゥリーク」にのせていきます。ボロボロとなるときはもう少し水を追加してよくかき混ぜます。



⑦乾燥するまで待ちます。リアルな木ができました。

葉造くん^{よーぞう}で低い木(フッシュ)を作る

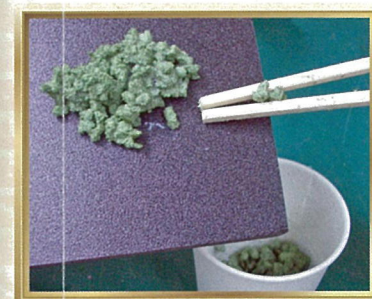


①ラランドスポンジの極細目を紙コップに半分くらい入れます。

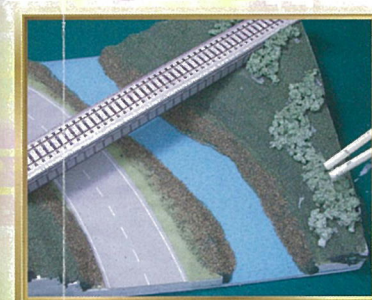
植栽ボンド「葉造くん」を一面にかけます。



②ペットボトルのキャップ1杯分の水を加えてよくかき混ぜます。(少しくらい多目でも OK です。)



③全体に白っぽくなるまでよくかき混ぜます。良くなじむと斜めにしてもボロボロに落ちてこなくなります。



④ふんわりと植えるのがコツです。

乾いても、ふんわり仕上がります。(葉造くんの特徴の一つです。ガチガチに固まらないので手でちぎるなどの加工が可能です。)